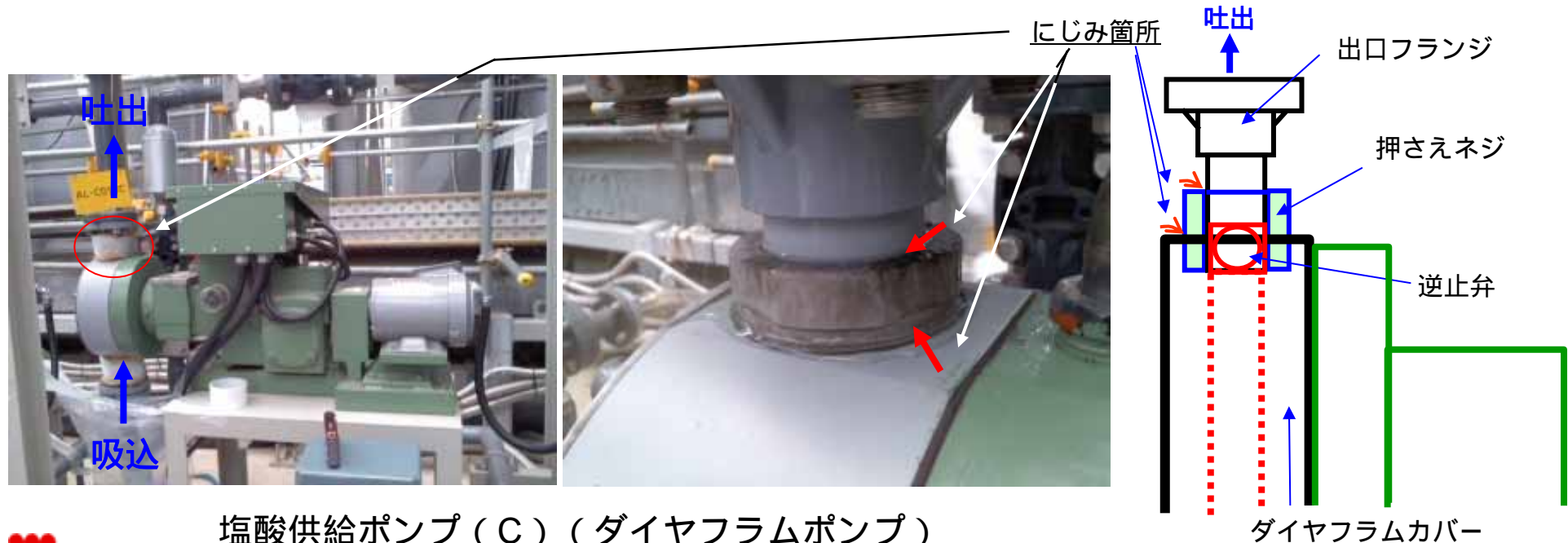


福島第一原子力発電所 多核種除去設備 C系 塩酸供給ポンプのにじみについて

< 参考資料 >
平成25年12月2日
東京電力株式会社

<時系列（12月1日）>

- 7：45 協力企業より、養生管理してあるにじみ発生箇所 の液溜まりが「通常よりも多め（約1L）」、「運転に支障は無いものの念のため手入れした方が良い」旨当社に連絡あり。
- 8：55 当社、「C系の処理運転への移行を見合わせ、待機状態継続」を判断。
- 9：25 当社社員、現場確認（にじみ：1滴 / 10分）
- 11：25 にじみ発生箇所の隔離弁操作実施（にじみ：1滴 / 10分で継続）
- 14：10 にじみ発生箇所の内包液体のドレン操作実施
- 14：46 下流部ドレン操作完了（約4L）、12月2日の点検までの間はビニール養生



塩酸供給ポンプ（C）（ダイヤフラムポンプ）



当該箇所は、内包液（10%以下の希塩酸）のにじみが発生し易く、ウエス、ビニールおよびバケツで常時養生を実施している。

< 参考 > 塩酸供給ポンプの位置関係

